

事業の目的

都民の生命を脅かす健康危機

- 新興・再興感染症の流行
 - ・ 高病原性鳥インフルエンザの世界的な流行
 - ・ 新型インフルエンザ発生の脅威
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行

健康危機管理体制の強化の必要性

救急搬送サーベイランスの実施

保健医療局、東京消防庁、医療機関、保健所が連携し、感染症危機管理の新たな仕組みを構築

救急搬送時における患者の症状等の情報を迅速に収集・解析することにより、異常な発生を感知

感染症法等に基づく迅速な対応

救急隊員、医療従事者の安全確保

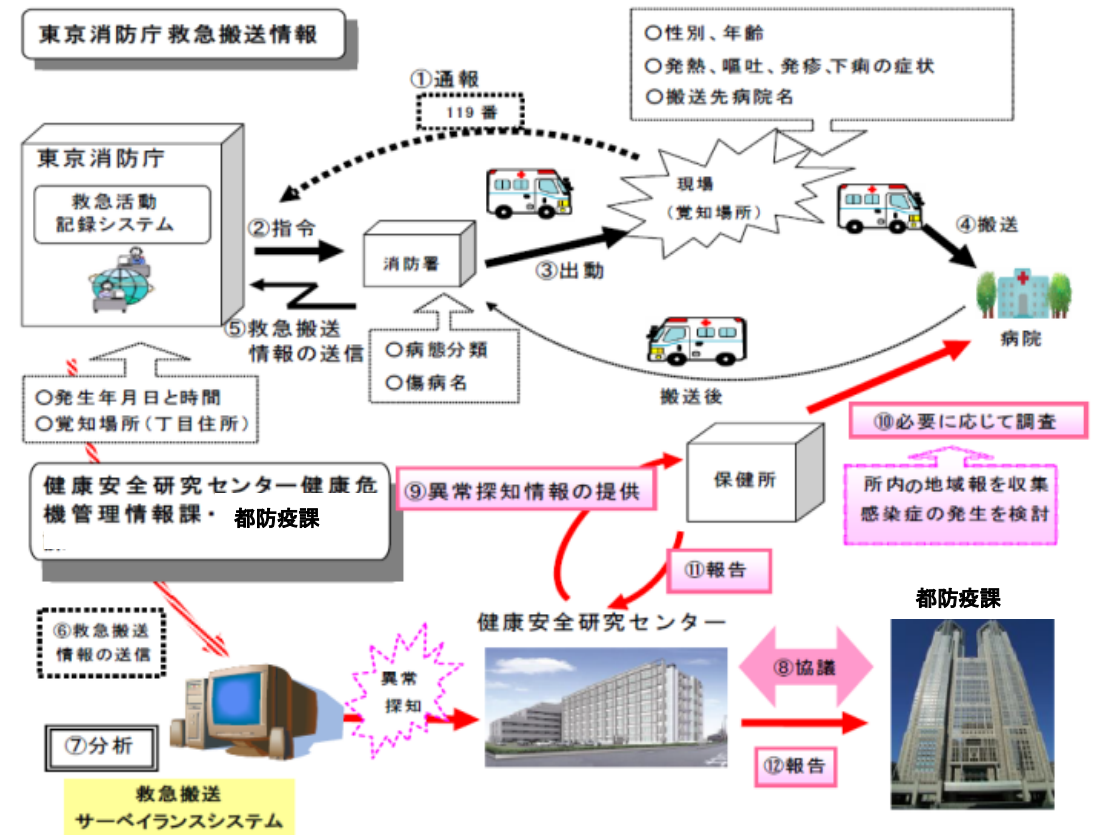
- 都民への被害の広がりを最小限に抑える

事業実施方法

感染症救急搬送サーベイランスの仕組み（イメージ）

- 東京消防庁と連携し、救急搬送情報を迅速に収集・解析

新興感染症等の発生をいち早く感知



※赤色の網掛け部分は、システムにおいて異常感知後の対応

